

本資料は、SIMIの責任において制作されました。  
原著の著作権は当該資料を作成した作者にあり、  
日本語化された資料の著作権は（一財）社会的  
インパクト・マネジメント・イニシアチブにあり  
ます。（<https://simi.or.jp/grc>）



The Impact Term Sheet

# Making the Mark VI

インパクト・マネジメントのベンチマーク・スタディ

---

*BlueMark*

2025年12月

渡邊 貴久 抄訳・まとめ

# 本報告書の概要

## 報告書の目的

- BlueMark社が様々な投資家を対象に実施した認証サービスから得られたデータや知見を共有することで、持続可能でインパクトのある投資市場における透明性と学習を促進するため年に1回発行されている出版物
- 第6版となる今回は過去最多となる**208件の検証データ**に基づき作成
- 主な分析対象は以下の2つ:
  - プラクティス検証**: 131の異なる投資家に対する153件の検証
  - Fund ID検証: 50のファンドマネージャーに対する55件の検証

### プラクティス検証の評価方法

**評価基準**: 投資家のインパクト・マネジメントツールとプロセスのベストプラクティスとの適合度を評価

**評価データ**: クライアントスタッフへのインタビュー、ポリシー・テンプレートのレビュー、サンプル取引文書の分析

**評価尺度**: 8つの主要な柱（インパクトピラー）に対する独自評価基準（毎年更新）

### Fund ID検証の評価方法

**評価基準**: 業界フレームワークやベストプラクティスに基づきファンドのインパクトおよびESGアプローチの核となる側面を評価

**4つの柱**: 戦略、ガバナンス、マネジメント、報告

**評価段階**: Design-stage（まだ投資を段階）と Implementation-stage（すでに投資を行っている段階）に分けて評価

**評価方法**: ファンドの方針、プロセス、ツール、および関連スタッフへのインタビューをレビューし、BlueMark社独自の採点基準に基づいて評価

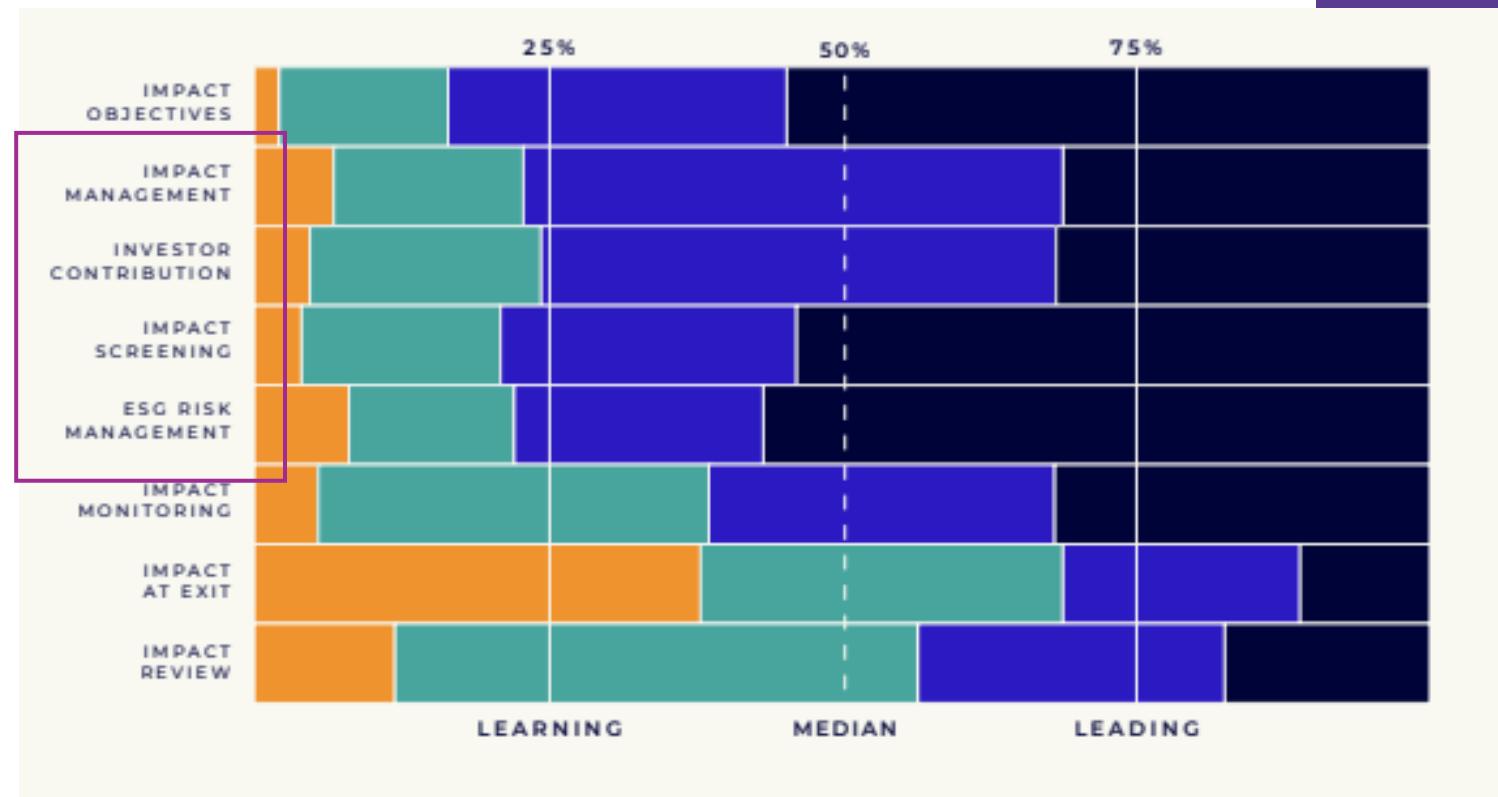
# プラクティス検証 の主な傾向

2024年比でインパクト・マネジメントのベストプラクティスが業界全体に直実に定着

- ・ インパクト・スクリーニングの中央値が「High」から「Advanced」に向上
- ・ ポートフォリオレベルのインパクト管理と投資家の貢献に関するリーダーボードの認定基準が上方修正

以下の 4 つの「Learning Practice」（25 パーセンタイル）の評価が「Moderate」から「High」に向上

- 1) ポートフォリオレベルのインパクトマネジメント
- 2) 投資家の貢献
- 3) インパクト・スクリーニング
- 4) ESGリスク・マネジメント



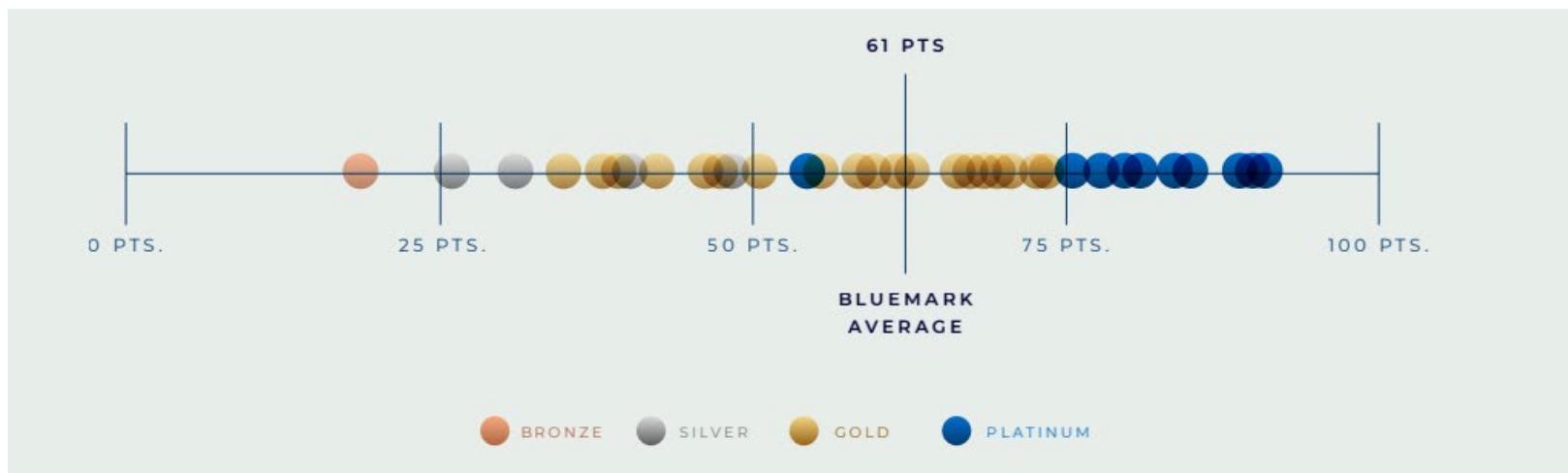
# Fund ID検証 の主な傾向

## 以下の 4 段階の評価

- |      |                          |
|------|--------------------------|
| プラチナ | 75-100点: 全分野で高水準のプラクティス  |
| ゴールド | 51-75点: ベストプラクティスを大部分で実施 |
| シルバー | 26-50点: 一部のみ実践、課題あり      |
| ブロンズ | 0-25点: ほとんど実践なし          |



全体の平均スコアは100点中61点で、「ゴールド」が最も一般的な評価



# Fund ID検証 の柱別のスコア（内訳）

柱	平均	内訳	
戦略 (Strategy)	64%	明瞭さ (Clarity)	71%
		セーフガード (Safeguards)	<u>75%</u>
		貢献 (Contribution)	<u>58%</u>
ガバナンス (Governance)	72%	管理・監督 (Oversight)	82%
		リソーシング (Resourcing)	74%
		アカウンタビリティ (Accountability)	<u>49%</u>
マネジメント (Management)	71%	スクリーニングとデューデリジェンス (Screening & Due Diligence)	76%
		モニタリングとマネジメント (Monitoring & Management)	73%
		エグジットとレビュー (Exit & Review)	<u>52%</u>
報告 (Reporting)	<u>56%</u>	完全性 (Completeness)	58%
		信頼性 (Reliability)	<u>52%</u>

# Fund ID検証 の柱別のスコア（まとめ）

柱	平均	特徴
戦略 (Strategy)	64%	<ul style="list-style-type: none"><li>セーフガード (Safeguards) のスコアは75%と最も高い</li><li>貢献 (Contribution) のスコアは58%と最も低く、ファンドの投資活動を通じて、被投資企業の成果にプラスの影響を与えるためのアプローチが、業界全体でまだ確立しきれていないことを示唆</li></ul>
ガバナンス (Governance)	72%	<ul style="list-style-type: none"><li>管理・監督 (Oversight) のスコアが91%と非常に高く、インパクトとESGの意思決定プロセスへの統合がうまく進んでいる</li><li>アカウンタビリティ (Accountability) のスコアは49%と最も低く、ファンドスタッフや被投資企業に対する正式な説明責任の仕組みやインセンティブ制度が全体的に不足</li></ul>
マネジメント (Management)	71%	<ul style="list-style-type: none"><li>スクリーニングとデューデリジェンスのスコアは84%と高く、堅固な事前評価プロセスが導入</li><li>エグジットとレビューのスコアは52%と最低で、責任あるエグジット（投資回収）のプロセスがファンド間で一貫していないことが示唆</li></ul>
報告 (Reporting)	56%	<ul style="list-style-type: none"><li>完全性 (Completeness) のスコアは58%で、信頼性 (Reliability) の52%よりやや高いが、豊富な定性面の解説や、データに文脈を与える年次報告書を含むレポートが評価された</li><li>全体的にスコアが低いことから、インパクト報告におけるベストプラクティスが市場でまだ初期段階にあることが示唆</li></ul>

# 2025年のリーダーボード

**Practice Leaderboard:** すべての柱において、上位25%以上の評価を得た最高水準のインパクト・マネジメント・システムと実践を持つインパクト投資家

**Fund ID Leaderboard:** 総合スコア75点以上（Platinum評価）を獲得した最高水準のインパクト・ファンド

## 2025 PRACTICE LEADERBOARD MEMBERS

Actis	Finance in Motion
AiiM Partners	Franklin Templeton Social Infrastructure
Bain Capital Double Impact	Investment Fund for Developing Countries
Better Society Capital	Nuveen Global Fixed Income Impact
BlueOrchard	Nuveen Private Equity Impact
British International Investment	Nuveen U.S. Affordable Housing
Brookfield	Schroders
Calvert Impact Capital	Trill Impact
Circularity Capital	The Vistria Group

## INAUGURAL FUND ID LEADERBOARD MEMBERS

AgDevCo	Positive Change Fund, <i>Pictet Asset Management</i>
Bain Capital Double Impact Fund III, <i>Bain Capital Double Impact</i>	Quona Fund III, <i>Quona Capital</i>
Brookfield Global Transition Fund II, <i>Brookfield Asset management</i>	Summa Equity Fund III, <i>Summa Equity</i>
Women's and Children's Health Technology Fund, <i>Cross-Border Impact Ventures</i>	SWEEF I, <i>Sweef Capital</i>
Ember Infrastructure Fund II, <i>Ember Infrastructure</i>	Trill Buyout Fund, <i>Trill Impact</i>
	Vistria Fund V, <i>The Vistria Group</i>

## ご利用条件

本資料は一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（Social Impact Management Initiative: SIMI）（以下「当法人」といいます）が運営するSIMIグローバルリソースセンター（以下「本ウェブサイト」といいます）に掲載されているものです。

本ウェブサイトを利用される前に以下の利用条件をお読みいただき、これらの条件にご同意された場合のみご利用ください。本ウェブサイトをご利用されることにより、以下の条件にご同意されたものとみなします。

なお、以下の条件は、予告なしに変更されることがあります。本条件が変更された場合、変更後の利用条件に従っていただきます。あらかじめご了承ください。

### 1. 著作権について

本ウェブサイト上のすべてのコンテンツに関する著作権は、特段の表示のない限り当法人および当該資料の原著の作者に帰属しております。そのすべてまたは一部を、法律にて定められる私的使用等の範囲を超えて、無断で複製、転用、改変、公衆送信、販売などの行為を行うことはできません。

### 2. 免責事項

本ウェブサイトは、社会的インパクト・マネジメントに関連する海外の文献や資料を、日本語に訳しまとめたものを、著者及び出版元の許可を得て掲載しています。本ウェブサイトに掲載されているコンテンツは、あくまでも便宜的なものとして利用し、適宜、英語の原文を参照していただくよう、お願ひいたします。

誤りのないようあらゆる努力をしておりますが、誤訳、あるいは、掲載されている情報の使用に起因して生じる結果に対して、当法人関係者及び当ウェブサイトは、一切の責任を負わないものといたします。

当法人は、予告なしに、本ウェブサイトの運営を中断または中止、掲載内容を修正、変更、削除する場合がありますが、それらによって生じるいかなる損害についても一切責任を負いません。また本ウェブサイトのご利用によりご使用者様または第三者のハードウェアおよびソフトウェア上に生じた事故、データの毀損・滅失等の損害について一切責任を負いません。

### 3. リンクについて

営利、非営利、インターネットを問わず、本ウェブサイトへのリンクは自由です。ただし、公序良俗に反するサイトなど、当社の信用、品位を損なうサイトからのリンクはお断りします。また事前事後にかかわらず、その他の理由によりリンクをお断りする場合もあります。

### 4. 資料の引用について

本ウェブサイト上に掲載された日本語まとめ、抄訳及び翻訳資料を引用する際には、出典の著作者名として「一般財団法人社会的インパクト・マネジメント・イニシアチブ（SIMI）グローバルリソースセンター」及び当該資料の原著の著作者名を、併せて明記ください。なお、引用の範囲を超えると思われる場合は、当法人および当該資料の原著の著作権者に了解を得てください。